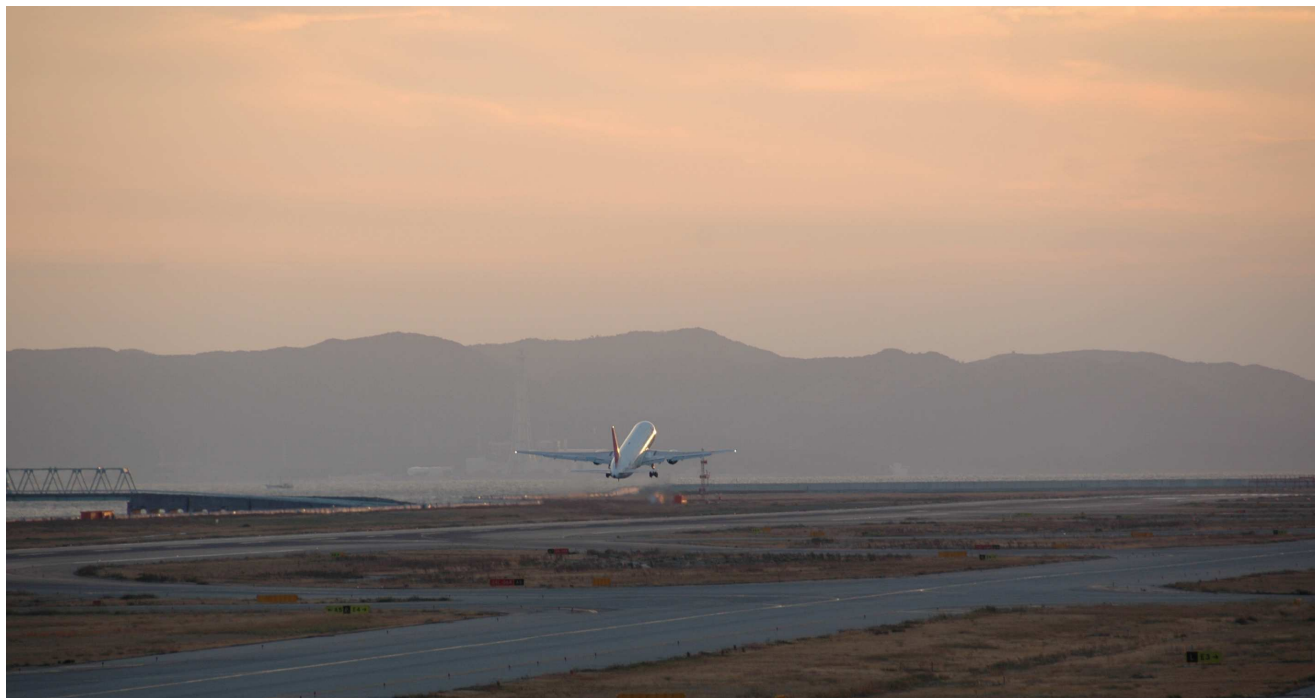


真宗佛光寺派
大阪教区・
別院だより

大悲

第24号

平成29年(2017年)
1月1日 発行



新たな一年の出発「関西空港」

私が自坊の法務を手伝うようになり約十年経ちました。その間に多くのご門徒さんが亡くなられたのを寂しく感じています。身近な人との別れは愛別離の苦しみです。

あるご門徒の娘さんが病気で亡くなられ、一年後、日記が出てきました。病気のことや、その後の予定などがたくさん書かれていたそうです。それまで、ふさぎ込まれていたご門徒さんですが、娘さんの友人関係を知り、多くの人に慕われていたことに初めて気づけたのでした。

「親ならばこそ、先立つわが子にみちびかれ」という言葉を聞いたことがあります。このご門徒さんはまさに、亡き娘さんの日記を通して、娘さんの歩まれてきた姿に遭遇されたのです。そしてそれ以降は死と向きあい、それまでの生活から一步前に踏み出されたように見受けられました。

「親しい人との別れは辛く悲しいものだけではない」。そのことをこのご門徒さんから教えられました。

(寿栄松正顕)

と う ひ が ん 到 彼 岸



～大阪別院
彼岸会法話より～

正念寺 おさだ ゆずる 長田 譲

願い、苦手な正座に耐えていました。

「往生しまっせ！」

困ったときや難儀な様子を「往生しまっせ！」と大阪の漫才師はギャグで笑い飛ばし、日常用語として使われますが、「往生」は本来とても大切な仏教用語です。

大阪別院の春の彼岸会にようこそお参りくださいました。本日は「深きいのちにめざめ 一切を拝める人になろう」という標語についてお話しさせていただきます。

初めてこの標語と出会ったのは三十年前、本山佛光寺の夏安居という研修の際でした。その時は、大師堂の柱に掛けられた標語の意味も尋ねず、長時間の朝の勤行が早く終わることだけを

ております。

「借りたら返す」

放送作家の永六輔さんの詞「借りたら返す」の冒頭に「生きているということは 誰かに借りをつくること 生きてゆくということは その借りを返してゆくこと」とあります。

私はこの世に生を受けて今日に到るまで、無量無数のご縁の中で生かされてきました。少なくともこの深いいのちの背景にめざめ、感謝するのであれば、一切のいのちをかけがえのない尊い存在と拝んでいこうという、新たないのちの歩みが始まるのだと前述の標語を味わっております。

是他非」という生き方をしてきたことに慚愧の心が生まれることです。

です。ですから私は、信心をいただくことは、他のいのちと共に生き、真実のいのちを生きて往く、「往生道」へ人生観の転換がおこることであるといいたい

(平成28年3月17日勤修の

大阪別院彼岸会法話より)



如^{によ}是^ぜ我^が聞^{もん}

非行非善の心にふれて

滋賀北教区 円覚寺 日下秀淳師



平成二十八年十月二十七日、
大阪別院で報恩講が厳修され、
日下秀淳師よりご法話をいた
だきました。

今までにない緊張

今から三十数年前、日下師
が二十代の頃、本山での研修
中のことです。『歎異抄』第八
章「念仏は行者のために非行^{ひぎやう}
非善^{ひぜん}なり」についてその領解
を諸先輩やご講師を前に発表
することになりました。元来、
人前で話をするのが苦手な日
下師にとってそれは今までに

経験したことのない緊張の瞬
間だったそうです。

喚び声

「わがはからいにて行ずるに
あらざれば非行という」と読
み始められたのですが、「それ
はつまり念仏は如来の行であ
り私の行でないということだ
して…」と言葉の説明に終始
した日下師は段々と黙ってし
まわれたのでした。
それでも、もう一度「南無
阿弥陀仏とは…」と言いかけ
られた時です。何処からとも

なく、「そのはからいを捨てよ。
そのまま、まかせよ」と聞こえ、
そして「何もいい恰好しなく
ていいんだ、そのままでもいい
んだ。南無阿弥陀仏」と静かに、
しかも強く包むように遠くか
ら喚び声が響いて来たように
感じたそうです。

それまでは無意識のうちに
どこまでも自らを善とする心
が離れず、その心が結局自分
を縛っていたのですが、その
思いを打ち破る真実の声にふ
れることが第八章の世界だっ
たと日下師は聴かれました。

その後も決して緊張から解
放されることはないのですが、
「念仏は行者のために非行非善
なり」が日下師にとっての仏
道に立つはじまりの言葉とな
ったのです。また「恰好を氣
にして上手に話せない私を常
に挙足^{こそくいっぽ}一步（足を挙げて、一
歩ふみだせ）」と励ましてくれ
ているのです」とお話しして
くださいました。

お念仏に励まされ

「自分自身の短所も長所も引
き受け、そこから一步を踏み
出そう」と私が私のままでよ
かったのだといただける世界
に励まされ、計らってばかり
いる我が思いをお念仏の教え
に打ち破られ、一步ふみだす
ことが大切だと聴かせていた
だきました。

（葦名 彰 記）

大阪探検

てんぼうざん 天保山



天保山にある壁画



海遊館



天保山渡船場

【アクセス】

- ・地下鉄中央線「大阪港駅」下車徒歩5分
- ・阪神高速湾岸線・大阪港線「天保山IC」より約5分

関西一

大阪市港区にある天保山は関西で一番低い山で標高4・53m。現在、日本で二番目に低い山です。ちなみに日本一低い山は仙台市にある日和山で標高は3mです。

もともと天保山とは天保年間（1830～43）に安治川^{あじ}の改修時に土砂を積み上げてできたのが始まりで、そのことから周辺を含め天保山と呼ばれるようになりました。

最近では「ポケモンGO」というゲームの聖地とよばれ、連日たくさんの方が天保山を訪れます。ポケモンを捕まえるのに夢中でいつの間にか天保山に登頂しているかもしれません。

周辺スポット

周辺には海遊館という水族館があり、海遊館スクールと称した「夏休みナイトツアー」や、夜から朝にかけて生きものを観察できる「おとまりスクール」（共に応募制）などがあり、外国人観光客や家族連れなどで賑わっています。

また現在市内8か所ある渡船場のひとつ、天保山渡船場があるのですが、ここから、交通費を使わずに船でUSJに行くことができます。

対岸に渡って入場ゲートまで30分ほど歩かなければいけません。船上からはUSJの本当の裏側を見ることができ、ひと味違う観光スポットです。

（玉出宗順）

ごえんさんを訪ねて

さいこうじ
西光寺

すえまつ まさのぶ
（大阪市淀川区） 寿栄松正信 住職



救療山西光寺は山号が示す通り、道順というお医者さんが中国街道に近い堀上村（現在の淀川区三津屋南）に天文元（1532）年に建立したお寺です。

現在の寿栄松正信住職は13代目にあたられます。

住職と教員の両立

ご住職は大学・大学院を終えられた後、府立高校の教員になられました。当時、前住職は既に70歳になっておられ、10年も勤められるかどうか、と思っておられたそうです。その後、定時制高校なら教員を続けられるのではと考え転勤され、何とか定年まで住職と教員の両立を果たされました。

そしてご門徒さんのご協力もあり、太平洋戦争でほとんどを焼失したお寺を再建できたそうです。前住職と二代にわたって60年以上かかったと



本堂内陣

のことです。

手作りのデータベース

ご住職は30年以上、コンピュータに取り組んでおられます。佛光寺派布教使であられた佐々木実道先生が布教の資料を作るために、チラシの裏の白い部分を使っておられたのを見たこと、また当時、国立民族学博物館の梅棹忠夫教授が紹介されていた「京大型カード」（情報を集めるのに規格の決まった用紙に、1項目1枚で収録するという基本的考え）

に出会ったことをきっかけに、コンピュータを活用して情報の収集や管理を行うようになりました。これはご門徒さんに良質な情報を届けたいというご住職の思いからです。

情報データのデジタル化

30年間で収集されたデータの一例として11新聞から社説、コラムを集めたものが昨年9月末で項目数が12万以上になったことをはじめ、新聞の切り抜き、ビデオ映像など厚みのある素晴らしいデータベースを作り上げられました。情報が次から次へと消費される時代にあって、今私たちに問われていることを伝えていきたいと語られるご住職でした。

（佐々木太二）

■西光寺（さいこうじ）

〒532-0035

大阪市淀川区三津屋南1-7-4

電話 06-6301-4040

Fax 06-6301-4040

大悲トピックス

■玉川奈々福の浪曲講演会開催

平成28年11月20日、大阪別院本堂にて、「玉川奈々福のほとばしる浪花節！」を開催しました（大阪教区教務所・大阪別院・法友会主催、さつき会・佛青懇和会協賛）。

当日は寺族やご門徒の皆さんだけでなく、ご近所の方々や、遠方からの熱心なファンなど約80名が大阪別院に参集。

浪曲師・玉川奈々福さんの躍動感あふれる節と啖呵、そして曲師・沢村美舟さんの三味線が本堂全体に響き渡り、参加者一同、迫力ある語り芸に酔いしれていました。

また懇親会では、奈々福さんとともに楽しいひと時を過ごすことができました。

（大阪別院輪番 葦名 彰）



◎ 玉川奈々福さん（左）と沢村美舟さん
◎ 浪花節に酔いしれる参加者

■懇志御礼

新潟県長岡市 佛心寺様

■新住職の紹介

脇阪義仁（第三組・霊松寺）

燦ホールディングス グループ

なごみ庵

き・た・は・ま

KITAHAMA

法要料理 ■四條畷店 ☎0743-78-7521
■瓜破店 ☎06-6769-0140
■伊丹店 ☎072-773-7531

※2012年5月現在 2-0132

御本山 近 用達

株式会社 川勝法衣店

フリーダイヤル 0120-075-055
(〒600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075) 371-0367 (代)
FAX (075) 371-5088

- 大正三年創業の信頼と実績 -

石留石材株式会社

各種石塔・石仏・記念碑
寺社建築石材まで

○ご相談は下記フリーダイヤルへ 携帯PHS OK

0120-53-5578

[本社・工場・展示場] 藤井寺市津堂2丁目9番29号

ご寺院、お役に立てる商品が、
きっと見つかる情報誌！

寺がある、法が活きる、寺の友社。

株式 会社 寺の友社

〒611-0002 京都府宇治市木幡平尾54番地の2
TEL 0120-7676-39 FAX 0120-7676-29
http://www.teratomo.jp

ご希望の、ご寺院には、無料カタログをお送りします。

(株) 小林造園

代表取締役：小林正典
〒603-8442
京都市北区西野山東町 36-1

tel 075-491-4256
fax 075-491-9432

燦ホールディングス グループ

まごころ葬儀を創造する。

公益社

公益社 ご葬儀相談センター (24時間・365日受付、通話料無料・携帯PHS OK)

0120-567-701

※2012年5月現在 2-0131

東 徳 石

慶事、仏事、各種会合等の際は、
和光庵の仕出し料理を
御利用下さい。

株式会社 和光庵
〒543-0073 大阪市天王寺区生玉寺町3-32
TEL 06-6774-8090 www.wakouan.co.jp

西天満店 結心(ゆいごころ)
〒530-0047 大阪市北区西天満4-10-5-1 階
TEL 06-6809-6311 www.yuigokoro.com

株式会社 モントラベル

〒550-0013
大阪市西区新町1-8-1 行成ビル

TEL 06-6531-1344
FAX 06-6531-1346
http://www.monto.co.jp

仏跡参拝ならお任せください！

浜屋は関西最大級の
お仏壇・お仏具・墓石・御寺院お仏具の
専門店です。

やすらぎの
世界を創る

通話料無料/浜屋郵路本社フリーダイヤル

お問い合わせ
お申し込みは

0120-1616-94

●受付時間/午前10時～午後6時30分

だいひ 絵日記

10月15日(土) 佛青懇和会大阪別院仏具おみがき

10月18日(火) 大悲の会編集会議(第24号読み合わせ)

10月27日(木) 大阪別院報恩講(法話:日下秀淳 師)①

11月16日(水) 大悲の会編集会議(第24号読み合わせ)

11月20日(日) 玉川奈々福のほとぼしる浪花節!

(大阪教区教務所・大阪別院・法友会主催、さつき会・佛青懇和会協賛)

11月27日(日) 大阪教区御正忌報恩講団体参拝

11月27日(日) さつき会御正忌報恩講奉仕活動(～28日)

12月7日(水) さつき会研修会(み仏に照らされて・講師:近松宜子 師)

12月21日(水) 佛青懇和会研修会(書道講習会・講師:佐々木太一 師)

12月25日(日) 大悲の会編集会議(第24号発送作業・第25号内容検討)

(法友会=住職会、さつき会=坊守会、佛青懇和会=青年会)



和奏の会 翠笛会

寺院のイベントに邦楽(尺八・箏)出張演奏いたします。

曲目はリクエストできます。

事務局:阪南市新町 宝林寺
電話 072-472-1414

<http://homepage2.nifty.com/suiteki/>

表具 八木米寿堂

御本尊掛軸修理 絵画、書の表装

〒600-8073

京都市下京区柳馬場通仏光寺上る

tel 075-351-2853 fax 075-352-3258

創業安政3年

京 佛 具 調 進

森田屋

福野御佛具處

〒601-8424

京都市南区西九条猪熊通九条上る

tel. fax 075-691-8423

協 賛

法 友 会
さ つ き 会
佛 青 懇 和 会

沙羅



寺院コム

<http://jiin.com>

夕 朝 伝統工芸 京仏壇・京仏具



(株) 若林

SINCE 1830

www.wakabayashi.co.jp

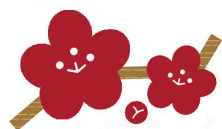
京都市下京区七条通新町東入

☎ (075) 371-3131 代 年中無休

E-mail info@wakabayashi.co.jp

フリーダイヤル ☎ 0120-37-8585 (各店共通)

東京店・築地店・札幌店・仙台店・近江草津店・福岡営業所



どなた様でもお参りいただけます

法要・法話会のご案内



大阪別院修正会

1月2日（月）正午

大阪別院彼岸会

3月17日（金）午後2時

法話：玉出宗順 師

3月20日（月・祝）午後2時

法話：隅谷俊紀 師

3月23日（木）午後2時

法話：葦名 彰 師

本山佛光寺茶所布教

毎日午前7時半

※大阪教区布教使の担当は下記の通りです

2月上旬 佐々木太一 師（常光寺）

3月中旬 玉出宗順 師（光福寺）

大阪教区寺院で開催される法話会

◎高照寺（堺市北区・072-252-2122）

1月15日（日）午後3時

「聞法の集い」法話：葦名 彰 師

2月25日（土）午後2時

「真宗講座」法話：三木彰円 師

※詳細は各寺院にお問い合わせください

「大悲の会」後援・布教大会

仏願寺（大阪市東住吉区・06-6702-0994）

1月14日（土）午後2時

法話（第一席）：門川崇志 師

法話（第二席）：寺田宗隆 師

法話（第三席）：佐々木太一 師

編集秘話

大悲の編集に携わる前は、原稿を書くのがもっと簡単だと思っていました。しかし、これほど難しいのかと痛感させられます。限りある文字数の中、あれやこれやと言葉を入れてしまい何が言いたかったのかわからなくなってしまいます。毎号、私が勉強させていただく場となっているのだと感じています。（寿栄松）

編集後記

大阪別院で開催された「玉川奈々福のほとばしる浪花節！」。「浪曲って難しいだろう」という先入観をもっていましたが、分かりやすく楽しい。さらには、その説得力と迫力に圧倒されました。浪曲は仏教の説教に由来するとのこと。学ぶのものが多くあったのと同時に、自らの思い込みの強さを思い知らされました。（隅谷）

大阪教区・別院だより『大悲』 第24号（冬号）

平成29年（2017年）1月1日発行（発行部数2200部）

発行：大悲の会

事務所：佛光寺大阪別院内

〒558-0011 大阪市住吉区荻田6-11-24 電話 06-6691-1362

郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」

大悲ホームページ <http://daihi.org/>

大悲の会

長田 譲（会長）

隅谷俊紀（副会長）

寿栄松正顕（会計）

玉出宗順（会計）

門川崇志（監事）

佐々木太一

葦名 彰